７月の保健だより

令和５年６月 30 日
神拝保育園

朝顔がすくすくとつるをのばし本格的な夏の季節が近づいているようです。７月はプール遊びや夏祭りなど楽しい事がたくさんあります。子どもは元気そうに見えても身体は意外と疲れています。その日の体調により、ご家庭ではゆったりしていただきたいと思います。６月はヘルパンギーナに罹患して、数名のお子さんがお休みしました。
夏の感染症についてお知らせ致します。

ヘルパンギーナ

コクサッキ―ウイルスによる接触感染でおこります。突然４０℃近い高熱が出て口蓋垂に白い水疱ができます。水疱が破れて口内炎になると痛み食事が食べにくくなります。痛みは３日くらいでなおり徐々に食事が食べられるようになります。食事が食べられて普段通り元気になったと保護者が判断したら登園届を記入して登園となります。

手足口病

コクサッキ―ウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染でおこります。
手のひらや足の裏、口の中に小さな発疹や水疱ができ熱が出ることもあります。
手足口病は食事が食べられて普段通り元気になったと保護者が判断したら登園届を記入して登園となります。

咽頭結膜炎（プール熱）

アデノウイルスによる飛沫感染及び接触感染でおこります。呼吸器、目、腸、泌尿器等に感染症を起こし感染力が強いうえにウイルスが５１型に分類され多くの型があるために免疫がつきにくく何回もかかります。
咽頭結膜炎（プール熱）もアデノウイルが原因でその名のとおり、のど(咽頭)と目(結膜)に炎症が起こり、高い熱がでます。うつりやすいため、家族みんなでこまめに手を洗い、タオルなどを共有するのをやめましょう。登園の目安は発熱、目の充血などの症状が消失した後２日経過したら医師に意見書を記入してもらいとなります。

たかが蚊とあなどらないで

虫刺されをかいて皮膚に傷ができそこからばい菌が入り「とびひ」などの皮膚トラブルを起こすことがあります。かき壊しを防ぐためには、次のポイントに気をつけましょう。

① 虫よけのテープ、ジェル、クリームなどで蚊をよせつけないようにしましょう。
② 刺されてしまったら、かゆみ止めを塗ったり、水で冷やしてかゆみをやわらげる。
③ 爪が伸びていると皮膚を傷つけます。短く切って角はやすりなどでけずってあげましょう。